

みんなの町議会



目次

- 定例会の経過 2
- 全員協議会・臨時会 3
- 常任委員会の焦点 4~5
- **一般質問に6名登壇 6~12**
- あれ なんと なったべが！ 13
- よぐきてけだな・がんばってます 14

No.146

2021年5月1日

森山と桜をバックに
ナイスショット

持続可能な行財政運営と 56億8千万円

依存財源である地方交付税26億3千万円／依存財源の割合は79.5%

地域活性化の推進を図る予算

前年度比

10億6,500万円 15.8%減

借金に当たる町債6億2,310万円と高く、厳しい財政運営は続く

議会の経過

3月定例会は前回同様、新型コロナウイルス感染拡大防止の対応をしたうえで、3月8日から15日まで8日間の日程で開かれた。



議場の座席は間仕切り、傍聴席は距離確保

初日 渡邊町長は冒頭、2月の町長選挙について挨拶と抱負を述べた。その後の施政説明で「新型コロナウイルス感染症関連、職員採用、令和3年度当初予算、総合発展計画策定、まち・ひと・しごと創生総合戦略、地域公共交通、地域活性化支援センター、交通

死亡事故ゼロ連続3,000日達成、火葬場改修事業、消防団の充実強化、新型コロナウイルスワクチン接種、子育て環境の充実、暴風雪による農業施設の被害状況、農林振興事業、新型コロナウイルス経営安定支援策、除雪、町道改良整備計画」などについて、続いて教育長が「卒業生・入学生の数、教育方針、五小新校舎、教育留学、地域図書室「わーくる」、雀館グラウンド整備」などについて述べた。

2日目 一般質問に6名が登壇。町長5期目の町政運営、新通学路の課題、ヤングケアラー、除雪、選挙運動のあり方、地域図書室「わーくる」などについて質問をした。

3日目 令和3年度一般・特別会計当初予算など議案27件が上程され、各常任委員会で審議した。

最終日 各常任委員長報告のあと、全議案を可決した。また陳情1件を全会一致で採択、委員会提出議案を可決、秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を指名推薦でおこない、渡邊町長を指名し閉会した。

令和3年度 当初予算の主なもの

● 火葬場改修事業
2億6,889万円



2カ年に渡る大事業である火葬場改修（完成イメージ図）

- 新型コロナウイルスワクチン接種事業 6,452万円
- 旧五城目小学校解体事業 2億3,885万円
- 消防団費 4,937万円
- (小型ポンプ積載車5台・団運営活動補助金分団上限10万円)
- 一般廃棄物埋立処分場改修事業 3,184万円
- 地方道整備交付金事業 7,045万円

陳情と意見書

3月定例会で1件の陳情を採択し、意見書を各関係機関に提出しました。

採択 ◆最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の採択を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 石川 洋基
秋田県労働組合総連合
議長 加賀屋俊悦

委員会提出議案

可決 ◆五城目町議会会議規則の一部を改正する規則制定

議会運営委員長 佐々木仁茂

改正内容

男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護に配慮したものに改める。請願手続きについて押印の義務付けを見直し、署名または記名押印に改める。

今定例会で可決した主な内容

- 農業委員会に実績給支払い
 - 中小企業経営安定支援基金条例制定
 - 新里町集会所と矢場崎集会所指定管理者の指定(各町内会へ)
- ※ただし今年度中に両町内会に払い下げの予定



払い下げ予定の、新里町集会所（左）と矢場崎集会所（右）

- 町道路線認定（杉沢地区の4路線）
- 令和2年度補正予算（1億5,468万円減額）
- 令和3年度当初予算（内容は次ページ）

（荒川 滋）

第1回 議員全員協議会

令和3年1月27日

協議案件

- ①五城目町介護保険事業計画（第8期計画）について
- ②新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について
- ③五城目町火葬場改修事業について
- ④五城目町消防団運営活動補助金について
- ⑤五城目町職員定数条例の一部改正について



町民の安全安心に欠かせない消防団

報告事項

- ①新型コロナウイルス感染症対策について
- ②選挙公営について

第1回臨時会

令和3年1月27日

提出議案

- ①令和2年度一般会計補正予算
 - 補正額7,799万5千円
 - ふるさと愛郷基金積立金 1,655万円
 - ふるさと納税手数料、委託金 489万円
 - 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 554万円
 - 除雪事業 5,100万円
- 議案の一般会計補正予算について審議し、全会一致で可決した。

（荒川 滋）

五城目町地域図書室「わーくる」オープン



わーくるでの図書の充実を

4月1日に五城目町地域図書室が開室し、多くの人で賑わった。これまでの蔵書の7000冊に加えて、新刊書も充実している。

今回の新拠点は児童と住民の交流の場になることが期待される。

委員から「令和3年度予算の地域図書室運営システム利用料26万円の内訳は」と質疑があり、当局からは「本の登録などに必要な図書検索システムである」と回答がなされ、全会一致で可決すべきものとした。

しかし、その後も委員から「地域図書室のシステム利用料が年間約26万円である。一方で、図書購入費の年間予算が20万円であり、システム利用料が毎年の図書購入費より多いのはなぜか」といったような質疑が相次いだ。

当局からは、「図書検索システムは会計年度任用職員が図書を登録する際に必要なシステムである」と回答があったが、委員会として十分納得できなかつたため、町長、副町長にも出席を求めた。

新型コロナウイルスワクチンの接種は最初に65歳以上の高齢者を対象として、15時〜17時の時間帯で、平日、土曜日に150名ずつ行われる方針である。予約は専用の電話回線を用意し、ネットからも可能となる。

委員からは「ワクチン接種

コロナワクチンの接種会場が町民センターに

後のアナフィラキシーショックも想定される。町民センターのエレベーターにはストレッチャーが入らないため、緊急時はどうするのか」と質疑があった。

当局からは、「アナフィラキシーショックを考慮し、町民センターの4階で接種後、



接種会場となる町民センター

1階で30分程度待機してもらう運用にする」と回答があり、全会一致で可決すべきものとした。

教育民生常任委員会

4月1日に五城目町地域図書室が開室し、多くの人で賑わった。これまでの蔵書の7000冊に加えて、新刊書も充実している。

今回の新拠点は児童と住民の交流の場になることが期待される。

委員から「令和3年度予算の地域図書室運営システム利用料26万円の内訳は」と質疑があり、当局からは「本の登録などに必要な図書検索システムである」と回答がなされ、全会一致で可決すべきものとした。

しかし、その後も委員から「地域図書室のシステム利用料が年間約26万円である。一方で、図書購入費の年間予算が20万円であり、システム利用料が毎年の図書購入費より多いのはなぜか」といったような質疑が相次いだ。

当局からは、「図書検索システムは会計年度任用職員が図書を登録する際に必要なシステムである」と回答があったが、委員会として十分納得できなかつたため、町長、副町長にも出席を求めた。

委員から「令和3年度予算の地域図書室運営システム利用料26万円の内訳は」と質疑があり、当局からは「本の登録などに必要な図書検索システムである」と回答がなされ、全会一致で可決すべきものとした。

しかし、その後も委員から「地域図書室のシステム利用料が年間約26万円である。一方で、図書購入費の年間予算が20万円であり、システム利用料が毎年の図書購入費より多いのはなぜか」といったような質疑が相次いだ。

当局からは、「図書検索システムは会計年度任用職員が図書を登録する際に必要なシステムである」と回答があったが、委員会として十分納得できなかつたため、町長、副町長にも出席を求めた。



世界一子どもが育つ五城目へ
(内川地区で行われたウインターパークの様子)

マル福（福祉医療制度）を高校生まで対象に

4月から五城目町の福祉医療制度の助成対象を、現状の中学3年生までから、高校3年生まで無償にする施策へと拡充した。

同じく4月からは学童施設の受け入れが平日18時半までとなり、小学1年生〜3年生向けの学童保育「すずむしクラブ」は土曜日も18時半までの預かりが可能になった。

子育て層がより安心して住みやすく暮らしやすい環境が生まれてきている。

生活交通バスを本格運行に



町民の積極的な利用が望まれる

4月1日より八郎潟・森山・大川の広域デマンド型乗合タクシーが本格運行される。

今後は登録料を無料とするが、既に納付した登録料の還付はしない。

委員から「1日平均10人の利用者数は、当初の目標からみて、どう評価するか。登録料廃止の理由は何か」と質疑があり、当局からは「当初の目標人数は達成されている。森山・八郎潟・大川を広域で運行したことで、町単独で運行するより経費が低くおさえられている。登録料は、他自治体では無い。登録料が2千円では、ためらう人もいるので廃止した」と回答があった。

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける町内経済を支援するため、売り上げの減少に町の認定を受け、秋田県経営安定資金危機対策の融資

五城目町中小企業経営安定支援基金条例を制定する

を受ける町内業者に対し、融資から3年までは秋田県が利子補給し、融資後4年から5年の2年間を、町が利子補給する条例を制定した。

(細澤 洋子)

総務産業常任委員会

町職員定数条例一部改正する

第4次職員定員適正化計画の策定に伴い職員数の整合を図るものである。

- 消防長の事務部局の職員を29人から33人に。
- 町長の事務部局の職員を1355人から95人に。
- 教育委員会の事務部局の職員を28人から15人に。
- 公営企業の事務部局の職員を9人から4人に。

全体として193人を161人と改める。臨時職員を会計年度任用職員に改める。

委員から「193人から161人になる条例になっているが、現実的に大丈夫なのか。仕事がつまっているとも聞く。町民へのサービスが低下しないよう進めてほしい」と質疑があった。

当局からは「条例は長く改正さ



町職員定数が減ってもサービス低下とならないように

れていなかったもので、一気に大幅減にすると受け止められるが、ここ数年140人台で進めてきている。会計年度任用職員の配置など含め、人件費を抑制しながら職員の負担軽減を図っていく。消防は5年計画で33人に。再任用も視野に入れながら進めていく」と回答があった。

農地の今後、 担い手の発掘・育成は

町長 「人・農地プラン」に基づき、
進めていく

朝市Plus+は、マスクの着用、手指消毒、3密回避などを引き続き呼びかけ、4月25日を第1回目とし、積極的に実施していく。みちのく溪流釣り大会、さくらまつりは断念したが、年3回の朝市まつり、きゃどっこま



十分な対策をし、再開

町長 山菜などを首都圏へ共同出荷し、小さな経済の創出

町長 予約方法は、電話と町ホームページからのWeb予約を

町長 集団接種の流れとしては、1階で受付をし、4階で接種、会場内で15分以上経過観察を行う。医師、看護師始め20名ほどのスタッフが従事する予定である。

町長 「五城目町職員の人材育成に関する研修計画」に基づき、職員一人一人が自己啓発に努め、創意工夫を凝らしながら能率的な事務処理を執行できるような研修に参加させる。全ての業務において住民サービスを第一に効果的な業務体制になるよう努めていく。

町長 「五城目町職員の人材育成に関する研修計画」に基づき、職員一人一人が自己啓発に努め、創意工夫を凝らしながら能率的な事務処理を執行できるような研修に参加させる。全ての業務において住民サービスを第一に効果的な業務体制になるよう努めていく。

職員の人材育成を



接種の準備が進む町民センター

町長 「五城目町職員の人材育成に関する研修計画」に基づき、職員一人一人が自己啓発に努め、創意工夫を凝らしながら能率的な事務処理を執行できるような研修に参加させる。全ての業務において住民サービスを第一に効果的な業務体制になるよう努めていく。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



椎名 志保

5期目の町政運営 どう進めていくか

町長 コロナ禍において、既存企業の存続・発展をどう支援していくのか。朝市Plus+の再開も含め、今後の観光振興をどう考えるか。

町長 町内企業に対し、事業継続のための支援金支給、融資への利子補給、商品券の発行などによる町内経済の支えを行っている。今後でもき得る支援策を模索し、実施していく。

町長 朝市Plus+は、マスクの着用、手指消毒、3密回避などを引き続き呼びかけ、4月25日を第1回目とし、積極的に実施していく。みちのく溪流釣り大会、さくらまつりは断念したが、年3回の朝市まつり、きゃどっこま

町長 ワークション促進会議を立ち上げ、受け入れ体制の整備を図る。公共施設の活用、空き家の確保は、宿泊・居住施設として検討していく。

町長 リモートワーク、ワーケーションの受け皿として、友愛館など既存施設の活用、すぐ住める空き家の確保など体制の整備を急ぐべきだ。

町長 民間事業者と連携し、空き家バンクの創設や住宅供給の取り組みを協議していく。

町長 馬場目地区のコミュニティ生活圏形成事業の進捗状況は。今後、他の地域へどう波及させていくか。

ワクチン接種に 万全な体制を

町長 新型コロナワクチン接種の進め方は、4月に65歳以上の方へ接種券と予診票を送付。その他の方にはワクチンの供給に応じ、順次送付。

町長 町民センターを集団接種会場とし、医療機関での個別接種と併用し実施する。集団接種会場まではバス・タクシーによる送迎を検討している。5月上旬頃の開始を想定し、男鹿潟上南秋医師会と湖東厚生病院の支援を受け、医療従事者の確保に努めている。

町長 集団接種の流れとしては、1階で受付をし、4階で接種、会場内で15分以上経過観察を行う。医師、看護師始め20名ほどのスタッフが従事する予定である。

町長 「GB馬場目」を設立。カフェ部会は地域住民を対象とし、月1回のランチ会を開催する方針だ。営農部会と交通部会は行政との連携・支援が必要であり、再検討している。馬場目地区のモデル事業を推進し、他地域でも可能性を検討していく。

職員の人材育成を

町長 「五城目町職員の人材育成に関する研修計画」に基づき、職員一人一人が自己啓発に努め、創意工夫を凝らしながら能率的な事務処理を執行できるような研修に参加させる。全ての業務において住民サービスを第一に効果的な業務体制になるよう努めていく。

一般質問

6議員が登壇 我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

椎名 志保 議員

- 町長は5期目となる町政運営をどう進めていくか
- 新型コロナウイルスワクチンの接種体制について
- 職員の人材育成をどう行っていくか
- 暴風雪被害への補償、豪雨災害の復旧状況はどうなっているか

荒川 滋 議員

- 町民との対話と協働をさらに進め、人が輝き、町が輝き、そして未来が輝く五城目町を築くと掲げ当選を果たした渡邊町長の今後のまちづくりと町政運営について
- 五城目朝市について
- 新型コロナウイルス感染症について
- 消防署長人事権について
- 小学校新校舎供用開始から2ヶ月経った通学路の課題

畑澤 洋子 議員

- 円滑な新型コロナウイルス予防接種事業を
- 子宮頸がん予防ワクチン対象者へ情報の周知拡充を
- リスクの高いヤングケアラーに早期に適切な支援を
- 新図書室「わーくる」で楽しさ増す読書手帳の配布を

斎藤 晋 議員

- 確定申告について
- 除雪について
- 議員報酬について
- 五城目の町長の抱負は

館岡 隆 議員

- 町長5期目の町政運営は
- 選挙運動のあり方について
- 指定管理者について

松浦 真 議員

- 地域図書室「わーくる」の在り方は
- 五城目町の小中の浮きぼれ対応は現状どのようになっているか
- 五城目高校の高校魅力化推進を
- 地域おこし協力隊制度のさらなる活用を

*誌面の関係に掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信中 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。議会を傍聴してみませんか？

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入)
(手指の消毒剤あります)



④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)



③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴におこし下さる皆様の健康を守る観点から、当分の間、傍聴を自粛いただく場合がございます。お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

(工藤 政彦)

一般質問



荒川 滋

町長は朝市の現状を どうとらえる

町長 存続への危機を募らせている

朝市課を設置するほどの対応が必要だ

荒川 これまで何度も提言しているが、スピード感を感じない切った改革をしないと朝市は途絶えてしまう。新たに「朝市課」を設置するほどの意気込みが必要だ。

町長 朝市Plus+、土曜朝市の出店緩和、平日朝市チャレンジ出店コーナーなど出店しやすい環境整備に努めている。出店者数の減少が続いているが、新たな出店機会を創出することにより朝市振興に努めていく。「朝市課」設置は今後の検討課題とした。

荒川 冬場の出店場所確保のため、朝市通りを除雪の特区内に。
町長 担当課職員による除排雪の回数を増やすなど可能な対応を考え、出店者の負担緩和を図る。



積雪期、朝市出店者の負担は大きい

消防職員採用試験は消防署長も参加を

荒川 町民の安全安心を守る消防職員採用に当たって可能性と才能の見極めが欠かせない。採用2次試験の口述試験には消防行政のトップである消防署長も立ち会おうべきだ。
町長 次年度より2次口述試験は消防署長も含めた面接とする。

地元産木材の利用促進をどう進める

荒川 制定から十年経過の「五城目産木材の利用促進に関する基本方針」は絵に描いたモチになっていないか。
町長 今一度その重要性を省みながら林業施策に取り組み必要がある。

荒川 公共施設において地元技術（集成材）と木材の更なる活用を進めよ。
町長 県の林業研究研修センターと連携し活用を検討する。大規模改修の火葬場を始め、公共施設で活用し木材利用・需要拡大の促進と林業の振興に努める。

新通学路の安全確保は確実に

荒川 町道雀館幹線の小学校付近にかかる横断歩道の安全確保を確実に。
町長 横断歩道部分への着色、注意看板の増設をおこなうほか、沿道のケヤキの伐採を計画的に進める。



カラー舗装された小学校前横断歩道

荒川 横断歩道の出入り口が雪でふさがれた箇所が目立つた。迅速な対応が出来るように。国道にかかる箇所も含め、現実な仕組みづくりが必要だ。
町長 町道にかかる横断歩道は町の作業員及び除雪業者に指示、国・県道は秋田地域振興局に説明し、確実な実行につなげる。

地域図書室「わーくる」読書手帳を

畑澤 読書を楽しむ続けられる夢のある読書手帳の採用を。ウイズコロナとは長い付き合いになる。対策に書籍消費は欠かせない。
教育長 利用状況や利用者の「声」を聴き、必要に応じて対策する。蔵書消毒器は導入し運用している。

一般質問



畑澤 洋子
(公明党)

円滑な予防接種事業を

町長 接種への不安解消に努める

畑澤 コロナウイルス感染に関する様々な報道に一喜一憂してきた1年2か月。いよいよワクチン接種が出来る。16歳以上の全町民に2回接種では、合計何回になるか。短期間での接種事業は、町が始まって以来の一大事業だ。順調に終えるには、会場までの専用送迎車かタクシーの無料券が有効ではないか。アナフィラキシーショックへの体制は万全か。事前の役割分担等で予備訓練を想定外の事態が起こらないようにしてはどうか。

町長 16歳以上8,170人に2回の接種。1万6,340回になる。

接種会場までの送迎にバス借り上げ送迎を検討している。タクシー送迎が必要な方には、個別に対応を検討している。予備訓練は近隣市町村で行う「集団接種シミュレーション」に参加し万全を図る。

子宮頸がん予防ワクチンの周知拡充を

畑澤 ワクチン接種後、運動障害を発症した症例から、厚労省の勧告に基づき積極的な勧奨を控えてきた経緯がある。しかし子宮頸癌罹患者と死亡者が増加傾向にて、厚労省は、ワクチンの定期接種を「情報提供の更なる充実を図る事」と自治体に通知している。本年1月、1歳と6歳の男児の肺癌の細胞遺伝子が、母親の子宮頸がん由来と判明した。世界初の症例であり驚愕の事態だ。町での対応はどうか。

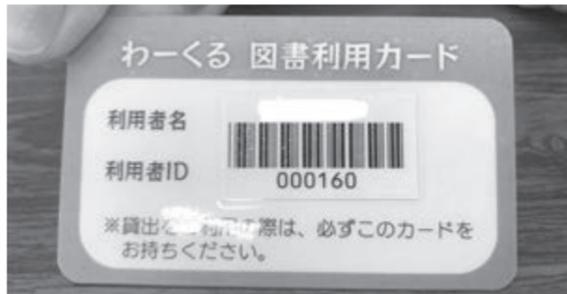


ワクチンの出現で人類は繁栄した

畑澤 アルツハイマー型認知症を患った祖母を介護していた孫娘が、祖母を殺害した事件でヤングケアラーの存在が注目されるようになった。秋田県がケアラー支援に本腰を入れる。町も調査を開始し介護を受ける側はもとより、介護をする側にも目を向け必要な支援につなぐ対策の強化を。
町長 核家族化の進行や一人親世帯の増加により、子供や若者も家族のケアに係らざるを得ない社会になっていると認識している。町として実態の把握やサポート体制を整えていく必要があると考えている。

リスクの高いヤングケアラーに早期の適切な支援を

町長 国からの「情報提供について」の指導により、厚労省が作成した資料を同封し、対象者119名へ個別通知した。町ホームページにも子宮頸がん予防ワクチンに関して情報を掲載している。



(現) カードを手帳方式に

町長5期目の町政運営は公約の実現できるか

町長 関係機関と連携し鋭意努力する

町長 町内企業の支援に積極的に取り組み、農林業の振興、新商品の開発、町の魅力を全

面的に取り組み、農林業の振興、新商品の開発、町の魅力を全

面的に取り組み、農林業の振興、新商品の開発、町の魅力を全

面的に取り組み、農林業の振興、新商品の開発、町の魅力を全

あなたにかわって
聞きました

一般質問



館岡 隆

5期目の公約 実現可能か

館岡 現在の人口は平成24年以降毎年2〜3%減少、高齢化率は令和2年49%、商店企業は16%減少し96軒、木材産業の衰退も著しい。工場の閉鎖も相次ぎ、移住・定住・起業も大きなうねりでない。北都銀行の撤退もあり、町の現状は極めて厳しい。コロナ禍のせいだけでなく、渡邊町長、4期16年間の町政下で起きた。これらに対する有効な具体的な施策は、何ひとつなかった。無為無策と言っても過言でない。5期目の公約は実現する気があるのか。

地域活性化支援センターの役割は

館岡 起業する人を地域活性化支援センターで育成していくその内容や人材は、本来町、県、商工会、金融機関で進めべきではないか。

農林商工一体戦略は

館岡 公約に「なんと云っても町の元気は農林商工一体戦略」としているが、その中身は。

政治活動を共に なった業者との関係

館岡 町長は選挙前、一月に開校した小学校を受注した業者と共に政治活動をしているが、道義的、倫理的、法的にどう思うか。

国に発信するなど、関係機関と連携し鋭意努力する。地域活性化支援センターを核に起業支援、特定地域づくりを行い、農林業の振興、もりやまこども園の給食費の完全無償化を行う。今後は小中学校の給食費の完全無償化に向けていく。

館岡 人脈を生かして有望企業を誘致すると断言しているが、状況はどうなっているか。

町長 16年間で培った長年の人脈で町民の為になる会社を、全国にアンテナを張って誘致する。



これから始まる教育留学に期待 (五小新校舎)

あなたにかわって
聞きました

一般質問



齋藤 晋

町民に優しい行政を

町長 町民の立場に立った行政を目指す

町長 広報には明記しておりません。2月末で医療費控除を申告した人は281人で「医療費のお知らせ」を利用した人は23人である。

記入箇所が多い明細書

齋藤 医療費控除の申告は「医療費控除明細書」を書かなくとも、「国保の医療費のお知らせ」を添付するだけで、申告が出来る。お知らせの葉書に書いてあるが、広報には書いてあるか。この葉書を利用して申告した人は何人か。

町長 広報には明記しておりません。2月末で医療費控除を申告した人は281人で「医療費のお知らせ」を利用した人は23人である。

町長 2月末現在で除雪費が8,000万円排雪費が800万円で総額8,800万円である。



積雪により出動回数が増えた今期の除雪

齋藤 もっと町民に親切な行政にすべき。町長の考えは。町長 町民の立場に立った親切な行政、真心のこもった住民サービスを実現するために努力する。

町長 2月末の段階で、北ノ又地区での計測では累積積雪は昨年304cm今年455cm。最大積雪は昨年95cm今年135cmである。上樋口地区のアメダス情報では累計積雪は昨年141cm今年352cm。最大積雪は昨年21cm今年51cmである。

動してもよい事変わった。町も基本的に県に倣って実施する。

町長 除雪出動の判断は通常午後3時頃から各地区の確認するパトロールを実施し、午後4時頃を目途に建設課で判断し決定している。今期の県の降雪会議では5cmを超え以降も積雪が見込まれる場合出動する。

町長 除雪出動の判断は通常午後3時頃から各地区の確認するパトロールを実施し、午後4時頃を目途に建設課で判断し決定している。今期の県の降雪会議では5cmを超え以降も積雪が見込まれる場合出動する。

なんと変わったべが!

令和2年度3月定例会一般質問より



あなたにかわって

聞きました

一般質問



松浦 真

「わーくる」開室に向けての目標数値は

教育長 年間利用者数を4,300人目標にする



皆が集う「わーくる」へ

松浦 「わーくる」本格稼働前に4月以降の目標値の策定、年間運営計画の提示が必要ではないか。
教育長 1人当たりの貸し出し冊数を現在の0.2冊から0.5冊にするイベントなどの企画によって、年間利用者数を人口の50%にするなどを目標にする。

松浦 地域図書室「わーくる」運営のロールモデルとなる具体的な先進地域として調査した自治体を挙げてほしい。
教育長 県の教育委員会から紹介された東成瀬村の類似施設を参考にしている。

五城目高校の高校魅力化推進を

松浦 五城目高校入学者は毎年減っている。令和3年の定員が107名に対し、入学者は47名である。五城目高校存続に向けて高校魅力化事業、県外生徒募集など含めて町の施策は。
町長 五城目高校では令和2年度3月現在、生徒数231名が在籍。しかし、県の整備計画では生徒数減少により2学級規模を維持できなくなった場合、入学者数が応募定員の3分の2以下の状態が2年続いた場合、原則として地域校化や募集停止などを検討するとなっている。

町としては、五城目高校独自のカリキュラムがあることを中学校での授業参観交流のときにアピールしていく。

※高校魅力化プロジェクトII
・その地域・学校でなければ学べない独自カリキュラム
・学力・進学保証をする公営塾の設置
・教育寮を通じた全人教育の3本柱で、多くの生徒が行きたい、保護者が通わせたい、魅力ある高校にするプロジェクト。



高校魅力化で生徒数増を（五高校舎）

地域おこし協力隊制度のさらなる活用を

松浦 2021年度の五城目町の地域おこし協力隊の募集形態を、ほかの自治体のように民間と共同募集することはあるか。
町長 現在活動している隊員は、地域コミュニティの維持と活性化促進などに向け活動を行っている。



新しいテーマでの地域おこし協力隊の募集を（五城目朝市）

令和3年度においては、県内で初となる民間団体委託による、地域おこし協力隊の配置を計画している。
松浦 地域おこし協力隊制度は国から全額補助が出るため、AIによる木材加工や森のジビエなどで有名な、岡山県西栗倉村では令和元年度の人口約1,400名に対して31名の協力隊が入っている。民間との共同募集や新しいテーマでの募集など、人口規模から考えると少なくとも年間5名〜10名採用を目指すべきであると考えているが、町の考えは。
町長 地域おこし協力隊の配置、活用に向けては、前例にとられない新たな領域への隊員配置、人員計画、人材発掘策などを総合的に勘案し、検討を重ねていきたいと考えている。

問

子育て支援は、思い切った独自の支援策を実施すべき。

1年前の答弁 財政的な負担が大きく、実施については十分な検討が必要。

現在 子育て世代の経済的支援の拡充により、移住定住にもつながる支援策について検討を行っているところだが、令和3年度においては、保育園の給食費を完全無料化する予定である。



給食費が完全無料化となる、もりやまこども園

問

曙町の豪雨による水害対策が必要だ。

1年前の答弁 近年側溝改良工事があり、流量も変化していることから、直接的な因果関係は特定できないものの、被害があったことなどを含め、関係団体と協議をしていきたい。

現在 関係土地改良区と協議の結果、豪雨時に浸水被害の原因の一部と思われる農業用水について、上流の分水されている部分のゲートを閉じた場合、広範囲に影響を及ぼすことから、ゲートの操作は出来ないとのことである。現状では、当該地が低い位置にあることから、根本的な解決策に至っておらず、引き続き新たな分水の工法などについて関係土地改良区などと調査していく。

問

町職員が自覚をもって地域パトロールにあたるためにも町在住が望ましい。

1年前の答弁 職員の居住要件は定めていない。有事の際の駆け付けなど重要な課題であり、今後有効な方策を検討する。

現在 時間外に災害が発生した場合など、有事の際の駆け付けについては、招集する職員が登庁するまでの間は、消防本部で初動対応にあたるなどの方策を講じるとともに、町外居住に限らず職員は常に迅速な対応を心がけていく。

問

八郎瀧町が行っている小中学校の給食費の全額助成や、医療費の助成を高校生まで拡充できないか。

1年前の答弁 周辺町村の動向を踏まえて検討していく。

現在 令和3年度から医療費の助成を高校生まで拡充することとし、小中学校の給食費についても段階的に軽減するための協議を行うことにしている。

よび
きてけたな



「自然体な 在り方が魅力」

○いつ、どんなきつかけで
五城目へ

八嶋 「また秋田で暮らしたい」と言い続けてきた静岡県出身で秋田大学医学部卒の夫と一緒に、千葉県出身のわたしが大学院（社会福祉学）を卒業してすぐの2021年3月末にやってきました。4年前から五城目町に遊びに来



馬場目ベースにオフィスもあります



漆畑 宗介さん
八嶋美恵子さん
(紀久栄町)

るなか、四季を感じる暮らし、地域のみなさんの自然体な在り方に魅力を感じ、「わたしも移住したい!」と思うようになりました。

○五城目町で生活していて
感じること

八嶋 移住者の先輩や地元の方が、気さくに声をかけてくださることが、とてもありがたいです。またスーパードッグや並ぶ食材から旬を感じたり、朝夕と日中の気温差から自然のなかで生きていることを実感したりと、全身で暮らしを味わう感覚が心地よいです。

○これからに向けて

八嶋 夫は病院勤務の内科医ですが、夫婦ともども、町の歴史や文化、暮らしのお話を聴くことが大好きです。二人で、朝市はもちろん町の色々な場所に積極的に参加すると思えますので、お会いした際にはぜひお話をさせてください。

(松浦 真)

がんばってます

地域と共にある五高



五城目高校
生徒会会長
伊藤 幸太さん

五城目高校は、学校行事が特長の一つで、なかでも地元五城目町の魅力に触れる行事が多数あります。これまで新入生だけが行って

り、毎日の教室での授業だけでは得られない体験を通して充実した高校生活を送っています。

いた森山登山でしたが、今年度は「もつと森山をもらあげ隊」の方々の協力を得て全校で登る予定です。校歌の歌詞にもあり、毎日眺めている身近な自然に触れる学習の機会を得られたことに感謝します。

私は、昨年12月から生徒会長を務めています。生徒会活動や部活動でのコロナの影響はとても大きいものでした。コロナ禍以前と同じようにはいかなくても、工夫次第で高校生活の彩りを豊かにできると信じています。

登山やクリーンアップに加えて、地元企業訪問や朝市Plus+への参加、だまご鍋調理なども行ってお

五高生が一つになって、学校行事や地元を元気にする活動に積極的に参加し、より充実した高校生活になるよう頑張りたいです。

(工藤 途子)

編集

後記



「誰にでもある思い出作りはできなかつたけど、誰にもない思い出ができました」
五城目小学校卒業証書授与式、巣立ちのことばの1節である。

楽しみにしていた修学旅行、練習を重ねてきた運動会、それら多くの学校行事が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、制限を余儀なくされた。小学校最後の思い出いっぱい的一年だったはずが…。

そして立ち上がった五小イルミネーション実行委員会とPTAの皆さん。多くのご賛同をいただき、11月20日の夕刻、イルミネーションの点灯、打ち上げ花火に大きな歓声が上がった。子どもたちの心に一生の宝物となるようにと願いが込められた。

卒業生の心の中に、その思い出は確かに刻まれている。

新年度も町民の皆様のご協力をいただきながら、紙面作りに励んでまいります。ご愛読くださいますよう。

椎名 志保 記

